

コンタクトレンズや容器の廃棄方法

近年、海水中で環境や生態系に影響を及ぼすと懸念されているマイクロプラスチック※が問題視されています。コンタクトレンズや容器もプラスチックです。

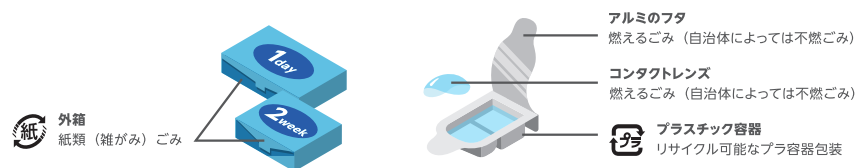
以下のことに注意して廃棄しましょう。

※サイズが5mm以下の微細なプラスチック粒子

コンタクトレンズや容器は、流しやトイレに破棄しないようにしましょう。

コンタクトレンズや容器の廃棄は、自治体のゴミの分別ルールに従いましょう。

例) 使い捨てソフトコンタクトレンズの場合



例) ソフトコンタクトレンズ用ケア用品の場合



※ メーカーや種類により、一部素材が違うことがあります。

※ 本例は一例です。必ず自治体のゴミの分別について確認をおこなってから、分別してください。



<http://www.jcla.gr.jp>

CL 協会

検索

〒113-0033 東京都文京区本郷 3 丁目 15-9 SWT ビル 8F

TEL: 03-5802-5361 FAX: 03-5802-5590 E-mail: info@jcla.gr.jp

正しく使おう! コンタクトレンズ



まちがった
使い方をしていると...

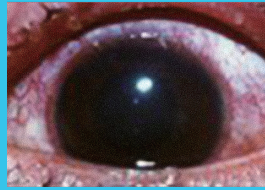
モンスターたちの
こんなコンタクトレンズの使い方は嫌だ!
大喜利動画
公開中!
こちらから



コンタクトレンズは目に直接のせて使用する高度管理医療機器です。使い方を誤ると角膜潰瘍などの重い眼障害が発生することがあります。

眼科医に指示されたことや、添付文書に書かれているコンタクトレンズの取扱方法やケア方法に従い使用しましょう。

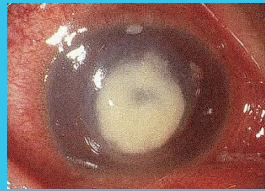
まちがった使い方をしていると…



充血



巨大乳頭結膜炎



緑膿菌角膜潰瘍



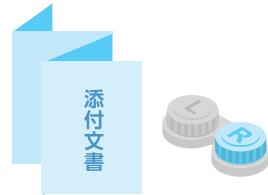
目の異常を感じたらコンタクトレンズの装用を中止して、すぐに眼科を受診しましょう。

不十分な洗浄・消毒などの不適切なレンズケアや、長時間又は使用期間を超えた装用により、重篤な眼障害が発生する危険性があります。治療せずに放置すると重篤な眼障害や失明につながる場合があります。

眼障害を起こさないために、次のことを守りましょう!

1

コンタクトレンズ使用前に、添付文書をよく読み、取扱方法に従い正しく使用しましょう。取扱方法を誤ると眼障害につながります。



2

コンタクトレンズを取扱う前に必ず石鹸で手指を洗いましょう。



3

装用前にコンタクトレンズに破損などの異常がないか確認し、異常が見つかったコンタクトレンズは使用しないでください。

4

レンズの装用時間には個人差があります。眼科医から指示された装用時間を守りましょう。

5

使用期間が決まっているコンタクトレンズは、使用期間を守りましょう。



6

レンズケアはコンタクトレンズにあったケア用品を選んで使用しましょう。こすり洗いは、コンタクトレンズ両面を十分に行いましょう。

7

ソフトコンタクトレンズは細菌などが繁殖しやすいので、毎日の洗浄と消毒を正しく行いましょう。



8

レンズケースは使用後によく洗い、自然乾燥させるとともに、定期的に新しいものと交換しましょう。

定期検査を受けよう!

自覚症状がなく調子よく装用していても、目やコンタクトレンズにキズがついたり、眼障害が進行していることがあります。異常がなくても定期検査を必ず受けましょう。

